

# **「産学官連携リスクマネジメントモデル 事業(技術流出防止マネジメント)」 の取組に係る報告**

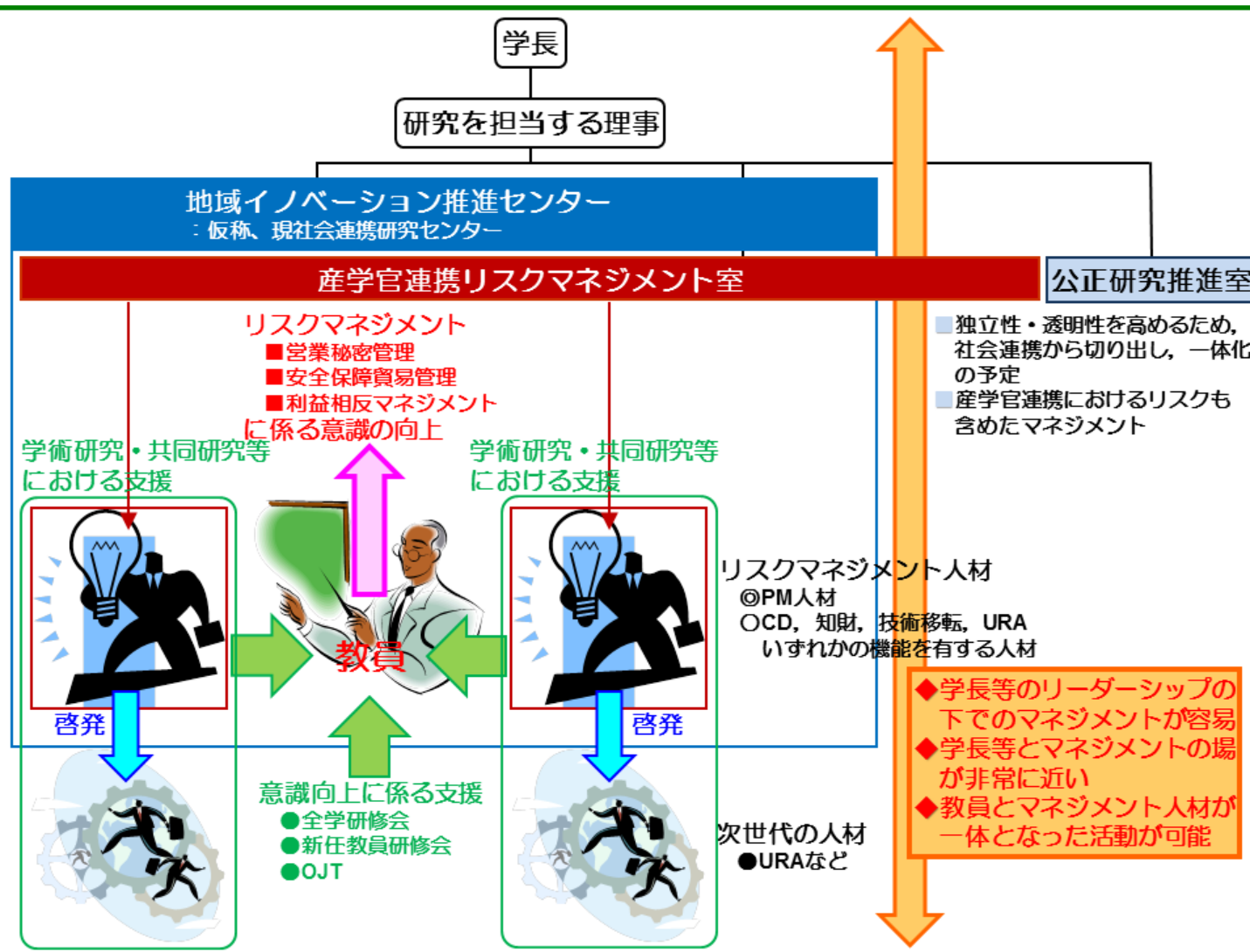
**国立大学法人三重大学**

社会連携研究センター 准教授  
大学院地域イノベーション学研究科 准教授  
知的財産統括室 副室長  
狩野 幹人  
([kanou@crc.mie-u.ac.jp](mailto:kanou@crc.mie-u.ac.jp))

平成27年度産学官連携リスクマネジメントモデル事業シンポジウム  
30/Mar./2016, Wed., 13H-17H, 東京医科歯科大学

# 構築するモデル（体制）

## 「地方国立大学が導入可能なモデル」を構築する



### マネジメント内容

- 「企業との連携数が10件を超える教員」に対して構築した体制
- 教員との「密」な連携
  - NDAの活用（共同研究等テーマ・内容の絞り込み）
  - 秘密保持の徹底
  - 特許等に加え、営業秘密の活用
  - 学生への指導の徹底など



「企業との連携数が10件以下の教員」  
 「これから産学連携を始める教員」

- ◆ 学長等のリーダーシップの下でのマネジメントが容易
- ◆ 学長等とマネジメントの場が非常に近い
- ◆ 教員とマネジメント人材が一体となった活動が可能

# 構築するモデル（運用・実施）

## 産学官連携リスクマネジメント室

「有」の場合、DB・事例等

- 申込時
- 定期的



- マネジメント
- モニタリング

教員

- (相手先が県内企業・中小企業等の場合)  
啓発も



相手先企業

### チェックシート

- 契約書における「秘密保持条項」の確認
- 発明・技術の有無
- 営業秘密の有無
- プログラム・データベースの有無
- サンプル・図面の有無
- 個人情報の有無

以上について、

- 単独保有
- 第三者から提供・第三者と共有
- 異動にともなって持ち込まれたもの

- 学生の参画の有無
- 第三者から提供された秘密情報の有無

### チェックシート

- 発明・技術の有無
- 営業秘密の有無
- プログラム・データベースの有無
- サンプル・図面の有無
- 個人情報の有無

以上について、

- 単独保有

# 構築するモデル（学生教育）



## 学生

- 「COC+」などにおけるインターンシップ
- 共同研究などへの参画

## 「営業秘密管理」に係る講義

### ※学年，習熟度に応じた教育を実施

- 知財との関わり⇒意識付け⇒倫理
- 平成28年度から実施

## 教養教育

- 教養教育ワークショップ（全員）
- 知財学（2単位）

## 学部

- 知的財産権概論（工学部，1単位）
- ベンチャー企業論（生物資源学部，2単位）

## 大学院

- 新入生オリエンテーション（全員）
- 技術者倫理特論（地域イノベーション学  
研究科 [全学開放]，1単位）
- 知的財産権出願特論（工学研究科，1単位）

## Mip (Mie intellectual Property) 特許塾

- 対象：教員・学生，県内企業

# 他大学（特に同規模大学）への波及

## 「地方中規大学向けのリスクマネジメント導入マニュアル(仮称)」 「実務者向け教材」の提供

### コンテンツ

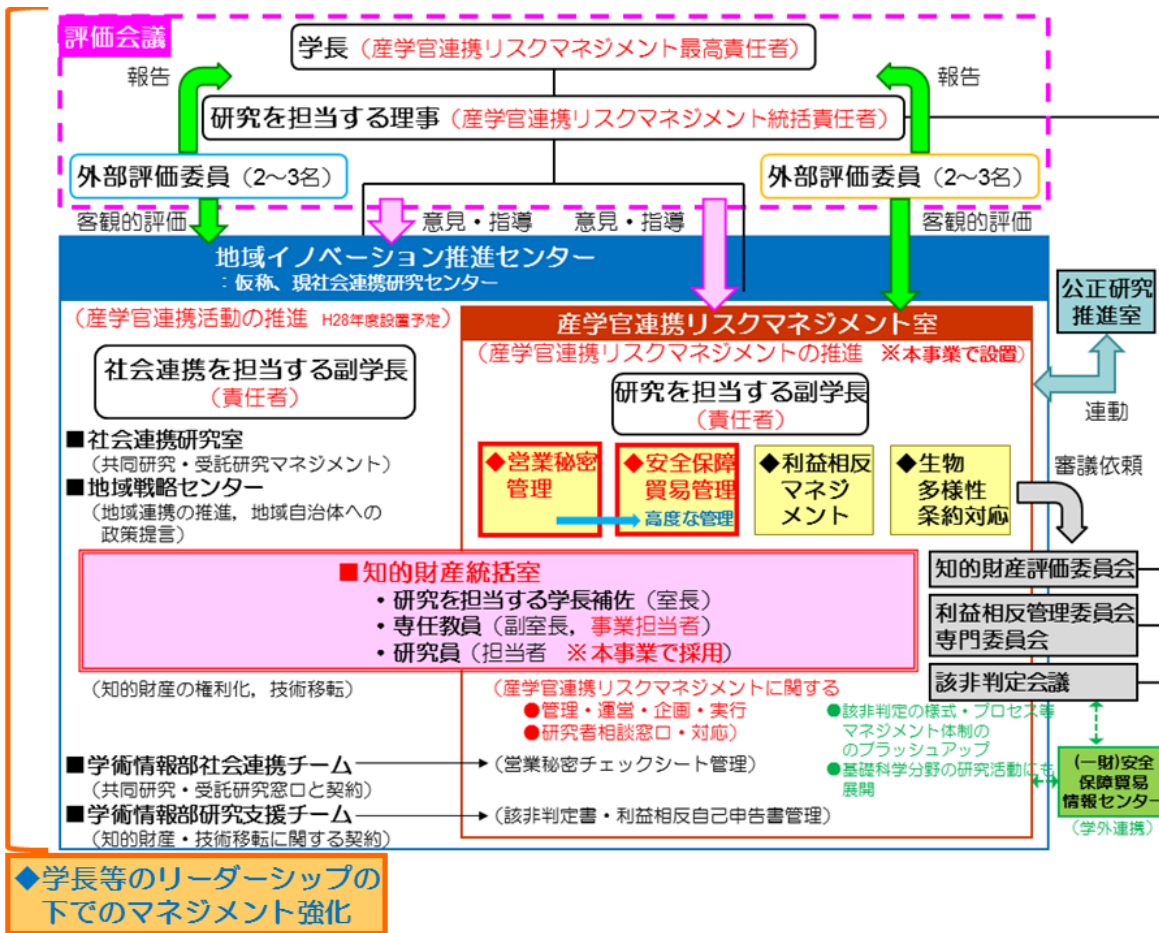
- 体制構築
  - ポリシー・規程，要項等
- 実施・運用
  - 「企業との連携数が10件以上を越える教員」に対して実施している知財マネジメント，技術移転等の手法  
営業秘密管理等の手法
  - 「企業との連携数が10件以下の教員」「これから産学連携を始める教員」への「落とし込み」手法
  - チェックシート様式，契約書雛形等
  - 安全保障貿易管理における「役務の提供」に係るマネジメント手法
- 教員に対する研修会資料
- 学生への講義用テキスト

## 「実務者向け研修会」の開催

### コンテンツ

- 三重大学，参加大学での事例を取り上げ，ケーススタディを実施（複数回）
- ネットワーク化

# 事業の実施（体制）

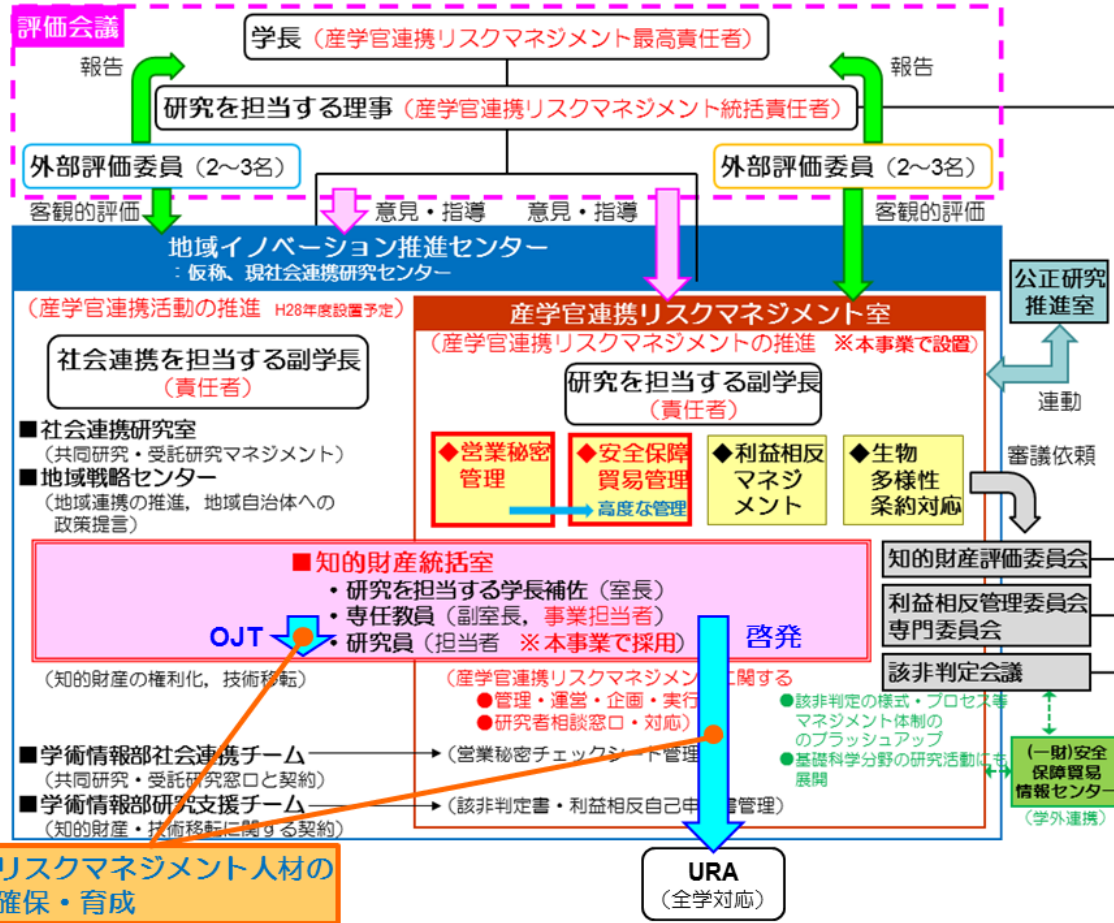


- ◆ 学長等のリーダーシップの下でのマネジメント強化
- 社会連携研究センター内に、研究を担当する副学長を責任者として「産学官連携リスクマネジメント室」を設置。（平成27年12月10日）
- 「産学官連携リスクマネジメント室」およびその準備段階において、本事業を推進。本事業で取り組む「技術流出防止マネジメント」の他、利益相反マネジメント、生物多様性条約対応も含めて一元的にマネジメントを実施（教員からの相談対応窓口としても）。
- 「社会連携研究センター」、「産学官連携リスクマネジメント室」に、外部評価委員（それぞれに3名）を置き、両組織の活動を客観的に評価。
- 学長は客観的評価結果に基づいて両組織に対して意見・指導を実施。

## 平成28年度

- 平成27年度から継続。
- 「営業秘密管理ポリシーおよび規程」策定。

# 事業の実施（人材育成）



- ◆リスクマネジメント人材の確保・育成
- 日常の産学官連携リスクマネジメントの遂行を通じ、相談対応に関するノウハウの蓄積および担当人材のスキル向上。
- 事業担当者（知的財産統括室副室長）が研究員（本事業で採用）をOJTによって育成。

## 平成28年度

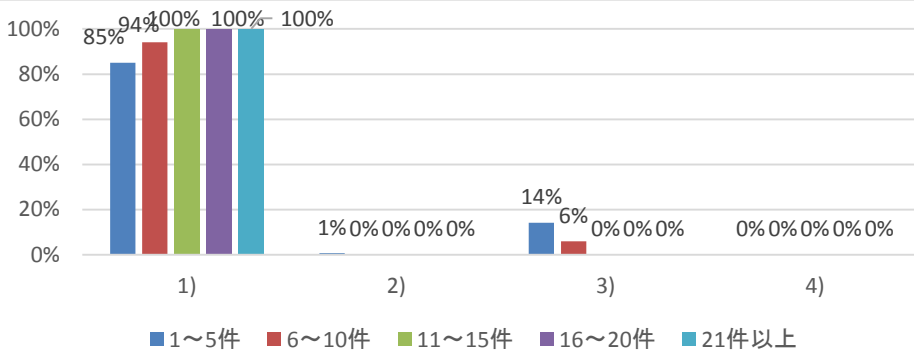
- 平成27年度から継続。
- 全学対応のURA（平成28年度採用予定）に対しても、定期的に営業秘密管理および安全保障貿易管理に関する啓発を実施。





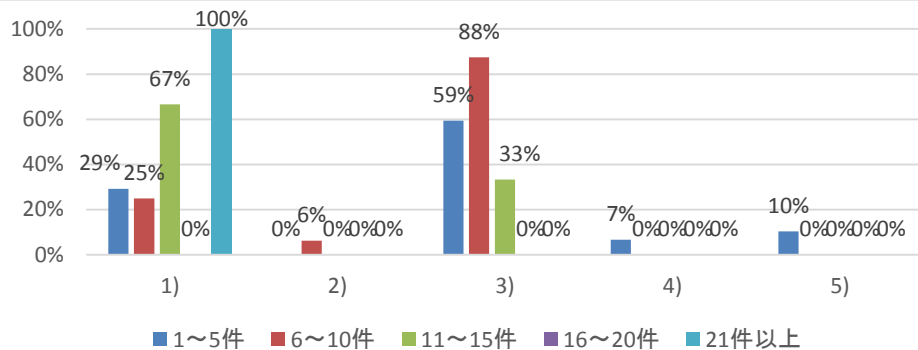
1-A. 共同研究・受託研究契約書に秘密保持義務条項があることをご存知でしたか？

- 1) 知っており、秘密保持を厳守していた
- 2) 知ってはいたが秘密保持は厳守していなかった
- 3) 何となく知っていた
- 4) 知らなかった



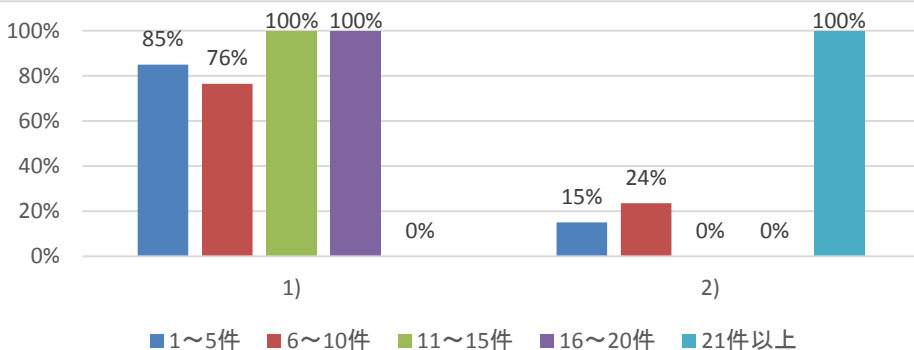
5-B. 当該参画された方に秘密保持に関する指導・注意喚起を行っていましたか？（複数選択可）

- 1) 秘密保持に関する指導・注意喚起をし、本人の同意を得た上で誓約書等を提出させていた
- 2) 秘密保持に関する指導・注意喚起をせず、誓約書等を提出させていた
- 3) 誓約書等は提出させていないが、指導・注意喚起を行っていた
- 4) その他
- 5) 特に何もしていなかった



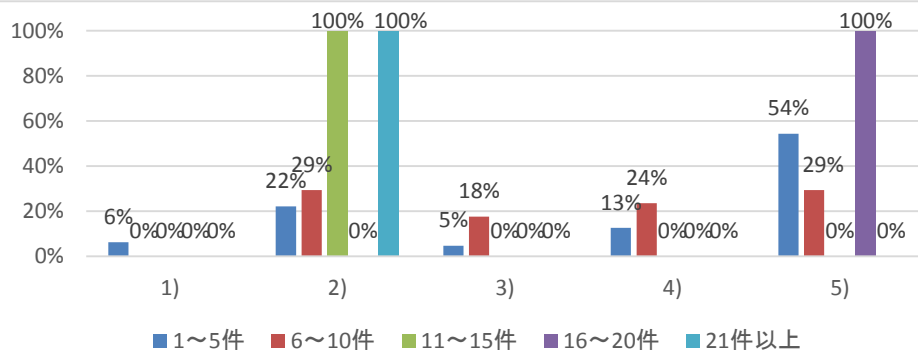
2-⑦ 共同研究等において、それぞれの開始前に「個人又は三重大学」が単独で保有していたノウハウがありますか？

- 1) ない
- 2) ある



6-A 個人又は三重大学が保有する秘密情報の管理についてお尋ねします。

- 1) 常に「秘」又は「Confidential」と明示している
- 2) 他者に開示又は提供する際には、「秘」又は「Confidential」と明示している
- 3) 他者に開示又は提供する際に、「秘」又は「Confidential」と明示しないことがある
- 4) 「秘」又は「Confidential」と明示していない
- 5) 特に秘密情報は持っていない



### 平成22年度～平成26年度の特許出願の合計件数Top10の教員が 獲得した共同研究・受託研究

順位	筆頭発明者	特許出願件数			共同研究		受託研究	
		単願	共願	件数	受入金額	件数	受入金額	
1	[医] A先生	11	3	8	44	174,793	5	17,172
1	[工] B先生	11	3	8	58	179,429	16	273,727
3	[工] C先生	9	2	7	18	18,616	4	17,700
4	[工] D先生	8	1	7	34	46,805	2	21,340
4	[生資] E先生	8	2	6	35	171,930	3	482,482
6	[医] F先生	7	3	4	16	55,765	1	2,808
6	[工] G先生	7	1	6	24	49,759	4	38,518
6	[工] H先生	7	7	0	1	525	4	7,622
9	[医] I先生	6	0	6	19	344,850	18	476,046
9	[工] J先生	6	0	6	10	2,101	5	5,770
Top10合計		80	22	58	259	1,044,573	62	1,343,185
大学全体					1261	2,076,890	895	3,965,324
Top10合計／大学全体					21%	50%	7%	34%

### 平成22年度～平成26年度の特許出願の合計件数Top10の教員が獲得した共同研究・受託研究

順位	筆頭発明者	特許出願件数		共同研究		受託研究	
		共同研究	受託研究	共同研究	受託研究		

「企業との連携数が多い教員（10件を越える教員）」ほど  
リスク管理の意識が高く、適切なマネジメントがされている。

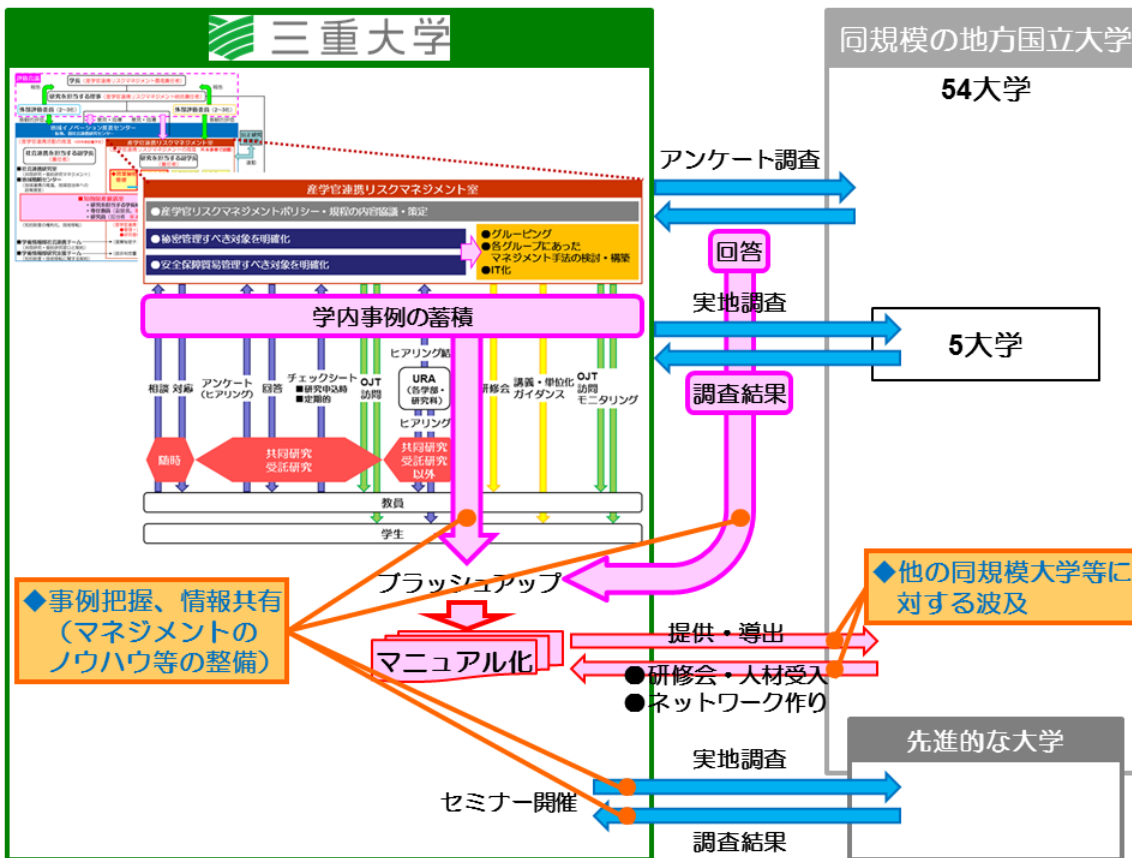
#### 理由

- 産学連携・知財スタッフとの「密」な連携
- NDAの活用（共同研究等テーマ・内容の絞り込み）
- 秘密保持の徹底
- 特許等に加え、営業秘密の活用
- 学生への指導の徹底

など

9	[工] J先生	6	0	6	10	2,101	5	5,770
Top10合計		80	22	58	259	1,044,573	62	1,343,185
大学全体					1261	2,076,890	895	3,965,324
Top10合計／大学全体					21%	50%	7%	34%

# 事業の実施（全国の大学等への普及）



- ◆事例把握・情報共有（マネジメントのノウハウ等の整備）
- 同規模の地方国立大学（重点支援Ⅰ類の54大学）に対して，営業秘密管理，安全保障貿易管理，共同研究・受託研究における秘密保持等に関するアンケートを実施。
- 同規模の地方国立大学の特徴を抽出するため，他の国立大学（重点支援ⅡおよびⅢ類の31大学）に対しても同様のアンケートを実施。
- 同規模の地方国立5大学に対して，実地調査を実施。
- ◆他の同規模大学等に対する波及
- 「地方中規模大学向けリスクマネジメント導入マニュアル(仮称)」検討。
- 「実務担当者向け教材の作成と研修会（ケーススタディ，複数回，他の同規模大学等を含む全国に開放）」検討。

## 平成28年度

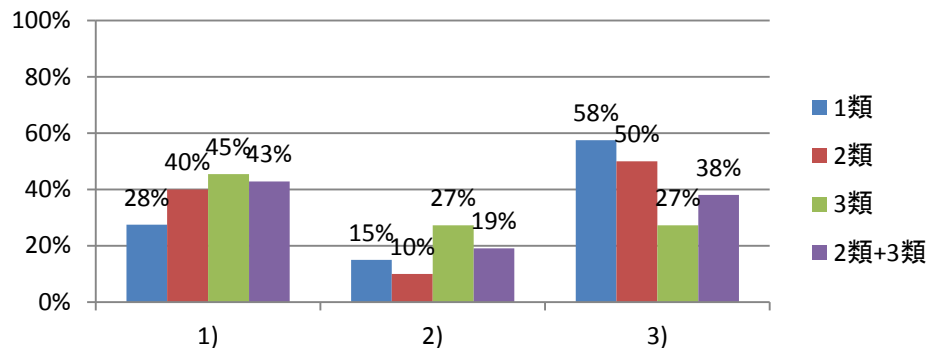
- 「地方中規模大学向けリスクマネジメント導入マニュアル(仮称)」作成。
- 「実務担当者向け教材の作成と研修会」実施。

# 事業の実施（全国の大学等への普及）

## 他大学へのアンケート結果の一例（回収率：71.8%）

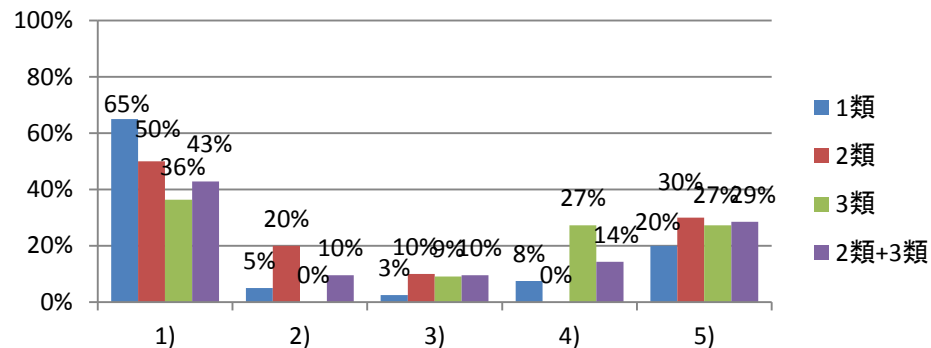
A 営業秘密管理に関する担当部署や相談窓口を設置していますか？

- 1) 担当部署を設置している
- 2) 担当部署は設置していないが、相談窓口を設置している
- 3) 担当部署も相談窓口も設置していない



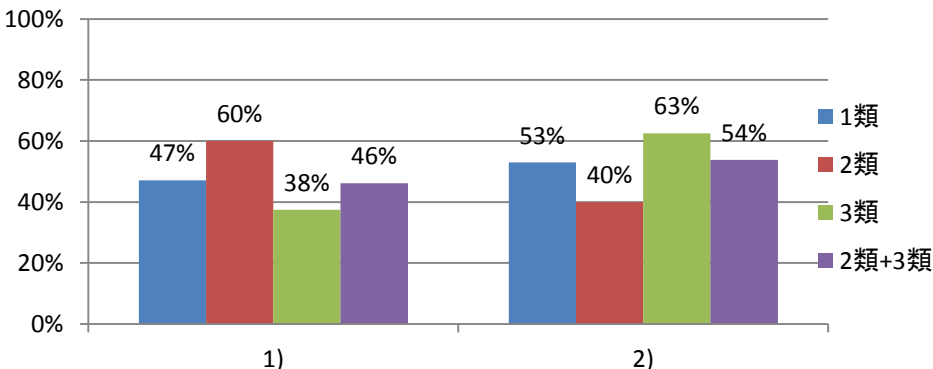
C 秘密情報管理に関して学内の研究者にどのように周知していますか？

- 1) 特に周知活動を行っていない
- 2) 学内研修、及び研究室への個別訪問等による個別周知を行っている
- 3) 学内研修のみを行っている
- 4) 研究室への個別訪問等による個別周知のみを行っている
- 5) その他の周知活動を行っている（※具体的な内容をご記入ください。）



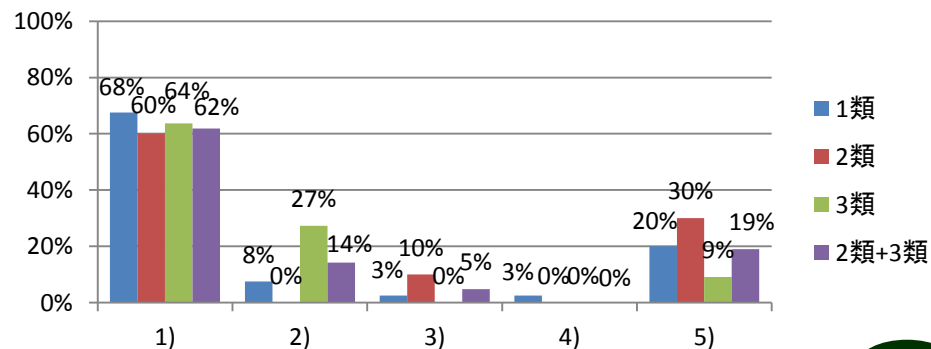
A-Ⅲ 営業秘密管理に関する担当部署や相談窓口は十分に運用できていますか？

- 1) 十分に運用できている
- 2) 十分には運用できていない



D 営業秘密管理に関して学生にどのように教育していますか？

- 1) 特に教育を行っていない
- 2) 講義、及びOJTを行っている
- 3) 講義のみを行っている
- 4) OJTのみを行っている
- 5) その他の教育を行っている



# 事業の実施（全国の大学等への普及）

## 他大学へのアンケート結果の一例（回収率：71.8%）

A 営業秘密管理に関する担当部署や相談窓口を設置していますか？

- 1) 担当部署を設置している
- 2) 担当部署は設置していないが、相談窓口を設置している
- 3) 担当部署も相談窓口も設置していない

C 秘密情報管理に関して学内の研究者にどのように周知していますか？

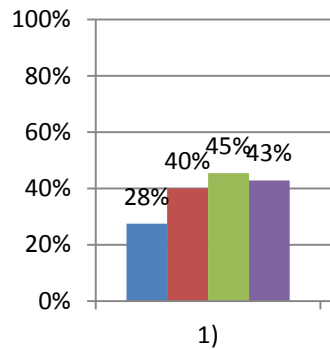
- 1) 特に周知活動を行っていない
- 2) 学内研修、及び研究室への個別訪問等による個別周知を行っている
- 3) 学内研修のみを行っている
- 4) 研究室への個別訪問等による個別周知のみを行っている

重点支援Ⅰ類の大学（地方大学）では、特に「営業秘密管理」が十分になされていない。

- 担当部署・相談窓口の設置
- 営業秘密管理の運用
- 学内研究者への周知
- 学生への教育

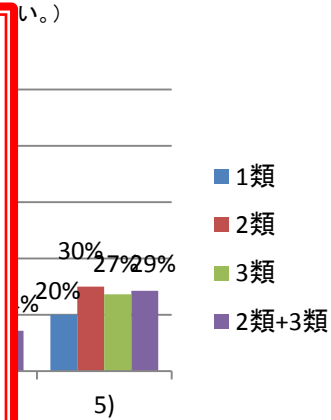
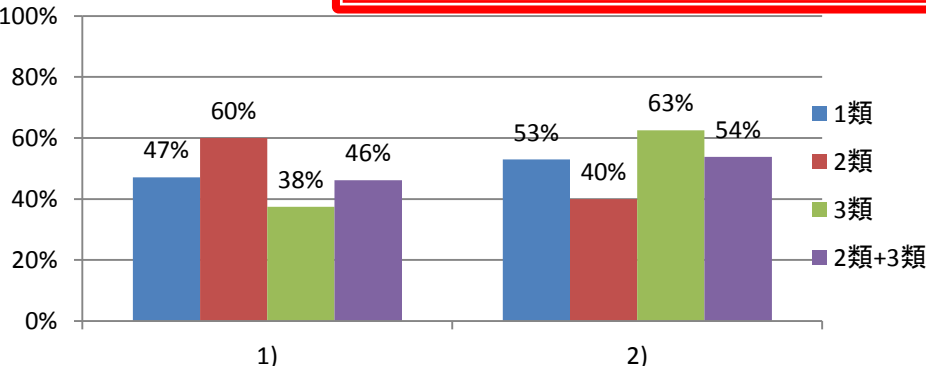
等について、50%を越える大学が未整備。

三重大学で構築したモデルを普及していく。

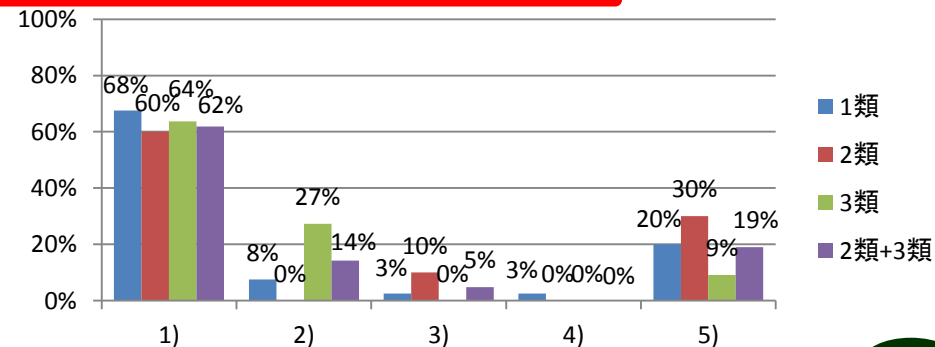


A-Ⅲ 営業秘密管理に関する

- 1) 十分に運用できている
- 2) 十分には運用できていない



ますか？





**ご清聴**  
**ありがとうございました**

サミット会場予定地の賢島(三重県志摩市)

写真提供：志摩市